

## 令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立江戸川高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任＝事務局長 1名 計 1名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務(進路兼務)主任、生活指導(保健兼務)主任 計 5名
- (4) 協議委員の構成 (氏名の掲載も可)  
元同窓会役員、相談医、近隣中学校長、近隣自治会長、警察（スクールサポートナー）  
計 5名

### 2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和6年6月21日 内部委員5名、協議委員2名  
協議委員委嘱、委員紹介、学校サポート委員委嘱、学校経営報告、学校経営計画  
本校の現状と課題等説明、意見集約、授業公開
  - 第2回 令和6年11月21日 内部委員5名、協議委員2名  
これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見  
学校評価の内容検討、協議、授業公開
  - 第3回 令和7年2月10日 内部委員5名、協議委員3名  
これまでの教育活動に関する報告、学校評価の報告、次年度に向けた方向性・課題の確認  
協議委員からの教育活動に対する意見集約
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和6年6月21日  
評議員の委嘱、学校評価の基本方針の確認
  - 第2回 令和6年11月21日 内部委員1名、協議委員1名  
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
  - 第3回 令和7年2月10日 内部委員1名、協議委員1名  
評価報告書（原案）の検討、アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象：94人 回収：56人 回収率：59%
  - ・12月 保護者全員 対象：90人 回収：25人 回収率：27%
  - ・12月 地域・住民 対象： 人 回収： 5人 回収率： %
  - ・12月 教職員 対象： 11人 回収： 11人 回収率： 100%
- (3) 主な評価項目
  - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、学校行事、健康・安全、ライフワークバランスの推進など
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・生徒は本校の学校生活について満足している。
  - ・生徒は授業や生活指導についてもおおむね満足している。
  - ・教員のアンケート結果は、生徒・保護者より肯定的な意見が高い項目が多い。
  - ・保護者・地域からの回答は少なく、理解度も低い。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・教員間でうまく連携をとりながら教育活動を行っている。
  - ・多様な定時制生徒の実態に合わせ、教員は工夫しながら授業を行っている。
  - ・情報発信をホームページで随時行っているが、保護者や地域の方々には伝わっていない。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### （1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業を観察して、まじめに取り組んでいる生徒が多くなったとの評価を得た。
- ・学校行事等で生徒が、しっかりと活動していたとの評価を得た。

##### （2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・火の用心への参加を通して、学校への信頼ができた。
- ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供すべきである。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

##### （1）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、学校の教育方針を説明し理解を得るようにする。
- ・ほぼ毎月行う校内研修会の充実を図り、教職員の能力を育成していく。

##### （2）学習指導

- ・基礎・基本の学習を徹底させつつ、生徒みずから考える授業展開を心がける。
- ・オンライン授業を行う体制ができ、実際に使用している。

##### （3）特別活動

- ・部活動を楽しく行っている。学校行事への参加が減り、充実させることが必要である。

##### （4）生活指導

- ・保護者、関係諸機関との連携を図りながら、生活習慣や心のケアの問題に取り組んでいく。

##### （5）進路指導

- ・キャリア教育を充実させ、個々の希望に応じた進路実現を図る。

##### （6）健康・安全

- ・生活安全教室、薬物乱用教室、セーフティ教室を継続して行う。

#### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

##### （1）協議委員人数 5人

##### （2）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	2					

#### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 28回 延0人

【成果】 特になし

- ・委員の意見を参考に、学校ホームページの充実を図ることとした。

#### 8 その他

- ・アンケート回収率の向上が課題だが、今回も生徒と教職員に対して Microsoft Forms を活用してアンケートを実施したところ、教職員の回答率が高まり、またアンケート結果の集計の効率化を図ることができた。
- ・学校からの情報発信力を更に高めていく。